

## 2016年度第4回 NGO-JICA 協議会

## ダイジェスト版議事録

日時：2017年3月16日（木）14:30－17:50
件名：2016年度第4回 NGO-JICA 協議会
出席者：出席者リストの通り

標記会議を実施したところ、概要以下のとおり。なお、逐語録は追って JICA サイトにて公開予定。

## 【協議の趣旨】

## ● 協議事項

## 1) 年間テーマの振り返り

## 1.1 SDGs について

SDGs に係る NGO・JICA の取り組みについて、各回での協議事項について振り返り、SDGs を踏まえた草の根技術協力事業の具体例が紹介された。NGO 及び JICA は、SDGs 達成を重要な課題と捉えるとともに、関係者をつなぐ共通言語として認識し、双方情報共有を行い、SDGs の普及・啓発だけでなく草の根技術協力事業における SDGs を意識した取組例に見られるとおり、今後も SDGs を踏まえた案件の実施を行うよう努めることを確認した。

## 1.2 ODA 本体業務における NGO-JICA の連携強化促進タスクフォースについて

今年度分を含め、前年度設置していた「1号業務参画促進タスクフォース」と合わせた2年間の実績と、実績・振り返り及び明らかになった課題について報告され、意見交換を行った。来年度については、今年度同様の成果を設定するタスクフォースは設置せず、2年間で作り上げたプロセスを稼働させるための窓口を NGO-JICA 双方で設置し、フォローアップを行っていくことを申し送る旨合意した。

## 1.3 開発教育推進のためのタスクフォースについて

開発教育推進のためのタスクは、これまで第1回にてタスクメンバーの紹介とアンケート実施の検討、第2回にてアンケート回収結果の検討を行ってきた。これを踏まえて、第3回目ではタスクメンバーが東京に集まり、①開発教育を実施する目的と背景、②開発教育を実施する際の課題と原因を確認した上で、③課題解決に向けた連携アクションプランについて議論した。今後は、具体的な実施内容を検討し、「(仮) 開発教育推進のための NGO・JICA 連携アクションプラン」にとりまとめる予定。(7月設置のタスクフォースのため、来年度第1回協議会まで継続設置。)

## 1.4 地方創生/地域活性化について

一年間の議論や報告の振り返りとして各回の事例を今一度紹介した上で、協議を通じて得た学びとして、地域活性化における国際協力活動の意義・成果と課題について意見交換がされた。来年度の取り扱いについては、NGO 側での意見収集も踏まえて決定する。

## 1.5 まとめ

ODA 本体業務連携強化促進について NGO-JICA 双方で留意すべき点として、1号業務への参画は双方の強みをより活かし、よりインパクトのある事業を作るための手段であること、開発教育推進に向け

では、タスクフォース会合での対面でのダイアログやアンケートを通じて、開発教育は公正で平和な社会を形成するための担い手の育成を目指すものであるという共通見解ができたことや持続可能な教育（ESD）の可能性についても言及があった。地方創生/地域活性化取り組みについては、SDGs のテーマとも重なるところがあり、国際協力の目標を掲げているのは途上国だけではなく先進国も含まれているという普遍性も確認され、SDGs 下における国際協力の在り方について、援助から協働・学びあいに変成する中、いかに共通の課題に向かって ODA・NGO 問わず、また自治体や企業も巻き込んで取り組んでいけるかが鍵である。今年度の重点テーマは SDGs は全体テーマを横串にしており、来年度以降は更に国内外を有機的に繋げるという観点から更なる連携への期待が示された。

## 2) 環境社会配慮ガイドラインについて

ガイドラインのレビューおよび改定に関して、NGO 側より、過去の教訓や現状を踏まえると共に、市民社会の参加が確保された上で十分な議論が行われるよう、十分な配慮をして欲しい旨の要望があった。また、JICA が予定しているレビューおよび改定のスケジュールについて質問がされ、JICA のガイドライン改定プロセスへの市民社会の参加のあり方についても意見交換がされた。

## ● 報告事項

### 1) 草の根技術協力事業：事後調査について

今年度実施された、草の根技術協力事業の事後調査について、受託団体より調査の概要及び調査を踏まえた総合分析・提言について発表があった。

### 2) JICA 監修アプリ Jhappy ご活用をお願い

世界中の人々をつながり 国際支援や異文化について 理解を深めることができる SNS アプリ jhappy（ジェイハッピー）について紹介があり、登録方法について具体的な説明があった。

### 3) 世界の人びとのための JICA 基金及び NGO 等活動支援事業について

「世界の人びとのための JICA 基金」の現運営委員 2 名が辞退することから、後任として、ネットワーク型 NGO から候補者 2 名を選出するよう依頼があった。また、NGO 等活動支援事業の NGO 等提案型プログラムについて、2017 年度の企画提案募集が開始された旨報告があった。

### 4) 来年度以降の NGO-JICA 協議会運営について

NGO-JICA 協議会の議論をより活性化させるため、逐語版議事録の廃止について JICA より提案があった。一方、NGO 側では逐語議事録廃止について様々な意見があるため、来年度 NGO-JICA 協議会の運営に携わる登録 NGO の集いの中で結論を出した上で来年度の協議会にて合意したい、との報告があった。

### 5) 活動の質向上に向けた NGO の取り組みについて

JANIC より、「支援の質とアカウントビリティ向上ネットワーク（J-QAN）」の活動状況についての資料が配布された。